

● 関西文化学術研究都市記念公園

前回検証結果	継 続 ・関西文化学術研究都市という立地を生かした魅力の発信や事業の企画など特色ある施設運営を行い、より幅広い利活用を図ること。
対応・改善策実施状況、取組の成果	○日本庭園や造園技術等の日本文化を国内外の人々へ発信するイベント ・令和7年度から、以前は閉園時間に限っていたブライダル撮影事業や結婚式パーティ利用を開園時間中にも拡大。 ・京都造園技術職業訓練協会の実習場所として協力を継続しており、造園技術の継承に寄与。 ・お茶の京都DMOと協力し、国内外の観光客に向けてガイドや箱庭枯山水体験などを継続して実施。 ・令和6年度から、精華町との共催自主事業イベント「せいかお宝発見」において、参加者に日本庭園の無料券を配布し新たな利用者を誘引。 ○周辺施設と連携した広域的な情報発信活動 ・大阪・関西万博に併せて開催されたけいはんな万博の一環として、令和7年度にアートの展示会やお茶のイベント、ワークショップを開催し、新たな利用者に公園の魅力を発信。 ・周辺企業・教育機関による園内の生態系に関する研究活動に継続して協力し、令和7年度の自然共生サイトへの登録や論文発表を通じて、良好な自然環境を保全している本公園魅力を広く発信
なお残る課題・問題点	◆府民の認知度の更なる向上。 ◆施設の老朽化に伴う維持修繕費の増加。
府民サービス等改革検討委員会による改善意見等	□公園施設として良質な維持管理がされているが、新たな誘致企画に乏しく、目的来園するには発信力と魅力づくりに欠ける。 □研修室の利用拡大に向けた広報等の工夫が必要。 □更なる公共性の向上のため、自主事業等による利活用の拡充に期待。
京都府の検証結果及び対応方向	継 続 <改善方策> ◎更なる利用者拡大に向け、自主事業の拡大等、施設の魅力発信に向けた取組を検討すること。 <今後の対応> ○関西文化学術研究都市という立地や府南部地域有数の日本庭園といった本公園の特色を生かし、自主事業の充実や効果的な魅力の発信を行い、更なる利用者の拡大を図る。